

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上高地をモデルとした外国人顧客向けの自然公園情報発信サイト構築事業
事業主体 (連絡先)	上高地観光旅館組合 (0263-95-2301)
事業区分	特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,104,000 円 (うち支援金 : 3,078,000 円)

事業内容

増加する外国人観光客の受入に伴う諸問題を解消し、地域が将来的に安定した観光地経営を行うために、「自然公園」としての上高地を海外にブランディングするためのHPをつくり、これを核とした地域の情報発信体制を構築する。

<主な業務>

- ①企画/現状や先進事例を基に最適なHPを企画設計
- ②編集・制作/HPの既存コンテンツの編集・表現統一および新規コンテンツの制作
- ③デザイン/海外ブランディングに特化してデザイン
- ④サイト構築/上記①～③を踏まえてHPを制作
- ⑤体制づくり/HPを活用した海外ブランディングのための情報発信体制を地域で構築

事業効果

- 1) 上高地の海外向け情報の一本化
 - ・乱立していた海外向け情報を新HPに統合。不要なHPは閉鎖するなどし、全情報を一本化して管理できるようになった。
- 2) 上高地の海外向けブランドイメージの明確化
 - ・「上高地から海外顧客へのメッセージ」として、雄大な大自然をゆっくりと体感する「自然公園」としての価値を紹介するコンテンツが完成。地域のブランドイメージが明確化された。
 - ・このメッセージを地域の様々な事業者と共有。これまでバラバラだった上高地PRの焦点を定めることが可能となり、ブランド形成の基盤が整った。
- 3) 外国人顧客とのコミュニケーション体制の確立
 - ・これまで各事業者が個別に行っていた、外国人の問合せ対応や情報発信を、新HPによって統合的に行えるようになった。
 - ・上高地に詳しい複数の英語記者が継続的に新HPを更新管理。
 - ・このことで、地域としての外国人顧客とのコミュニケーション体制が確立。外国人を受け入れるにあたって生じる各種のトラブルやコストの抑制に大きく寄与できるといえる。

今後の取り組み

- ・新HPを継続的に運用・情報更新し、「自然公園」としてのブランディングを進める。すでに、上高地観光旅館組合、アルピコ交通、松本市など地域の官民が連携してこの運用を支える体制ができている。
- ・新HPが明確化したブランドイメージを、他のプロモーションの場面(事業者の海外営業など)でも活用する。



【制作したHP】

【目標・ねらい】

- ①バラバラな海外向け情報の統一
 - 情報が乱立し顧客の混乱を招いている状態を解消する
- ②対外的イメージの刷新
 - 「自然公園」の楽しみ方やルールを伝え、外国人受入の負担を軽減する
- ③外国人への情報発信体制づくり
 - 地域が継続できる体制をつくる

※自己評価【A】

【理由】

地域が海外顧客に向けて主体的に「ここではこのように楽しんでもらいたい」というメッセージを発信することは、外国人受入に伴う様々な地域課題の解決につながる。本事業はこの考えを実践するものであり、当初目標はすべて達成できた。こうした取組は海外では多いが、国内では例が少なく、各地で外国人観光客が増加する現在において、重要な成功事例を築くことができたと自負する。